

第5回安全衛生大会の実施結果【速報】

平成28年5月19日(木)14:00~16:50、横浜市情報文化センター

■■参加者123名…多くの御参加、ありがとうございました。■■

◆ 当日の講演資料については、会員専用サイトに掲載します。◆

開会 古敷谷会長あいさつ



脇田議長からスローガンの表彰



■最優秀賞■

小さな気づきで防ぐ事故 安全確認 忘れずに (上野さおり様、(株)タズミ)

■優秀賞■

安全確認している「つもり」に潜むワナ その確認をもう一度

(福田亮様、横浜環境保全(株))

“お大事に” 言われる前に ご安全に！ (今泉勝様、(株)三凌商事)

作業前 確認不足が事故のもと 慣れた作業も再確認！ (矢作優一様、(株)タズミ)

産業廃棄物処理業における労働災害防止対策の
取組に向けて

講師：神奈川労働局 専門官 赤前幸隆氏



全国の労災統計データから、産廃業では神奈川が減少したことをもとに、発生場所から見ると自社敷地内では「はさまれ・巻き込まれ」事故が圧倒的に多く、客先では「墜落・転落」事故が多いことが顕著に表れており、事故が多い非常時作業時に対して、「非常時作業マニュアル」の重要性の説明があった。

「ここは直そう！」処理現場でよく見かける問題事例
講師：労働安全コンサルタント 二階堂久氏



会員の処理現場で見かける法令違反事例や危険個所の実例をもとに、好事例の提示、また事故現場の動画や実際の被害の写真、注意力の限界などを分かりやすく解説し、最後に夏期に向けて熱中症対策の具体例、また全国安全週間における積極的な取組を呼びかけた。

赤前専門官・二階堂先生による質疑応答
協会の相談役の長谷川滋氏がコーディネータ



収集運搬業における一斉の朝礼の難しさや、重機を用いての選別作業時の安全対策、非定常作業における発注者の対応、初心者教育など、客先での安全確保対策など、処理業の日常業務で遭遇する疑問に対して、法令面からの解説をもとに基本的な対処方法や実務的な解決方法のお答がありました。

(公社)日本保安用品協会や賛助会員等によるパンフレット・資料、各種保護具の展示

